※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	子どもの発達と保育　（教育図書）						
副教材等	実習教材、プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達や保育に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・実習を通して、子どもの遊びや食事について確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・保育園見学・実習を通して、乳幼児の観察を行います。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識と技術を習得させ，子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもと触れ合う学習活動を通して，子どもの発達の特性や発達過程における保育や子育て支援に寄与することができる。	子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する知識を習得し，子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	・平常の学習活動 ・授業プリント ・観察等 等	・授業プリント ・実習レポート ・実習製作物 ・安全作業への留意 ・観察等 等	・授業プリント ・実習レポート ・実習製作物 ・観察等 等	・授業プリント ・実習レポート ・観察等 ・定期考査 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4・5月	子どもの遊びと生活習慣	○オリエンテーション ・学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解	○			○	a. 子どもの遊びや生活習慣について関心をもち、学習に取り組もうとしている。 b. 子どもの発育・発達を促すための望ましい生活の諸条件について思考し、考えをまとめている。 c. 実習を通して、子どもの遊びや生活習慣の形成に必要な保育の技能を身に付けている。 d. 遊び、生活習慣の形成の意義と重要性を理解している。	・授業プリント ・実習レポート ・実習製作物 ・安全作業への留意 ・観察等
		○遊びの意義と形態	○	○		○		
		○保育所見学 ＊お名前ワッペン作成 ＊保育所見学	○	○	○	○		
		○生活習慣の形成	○	○		○		
6・7月	保育所実習	○保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント	○			○	a. 子どもにとっては自分は保育者(大人)であることを理解し、自らの果たすべき役割について考えようとしている。 b. 子どもの発達にあった遊びを自分なりに考え、工夫している。 c. 子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、それらをまとめることができる。 d 発達に合わせて遊びを働きかけることが大切であることを理解している。	・授業プリント ・実習レポート ・実習製作物 ・安全作業への留意 ・観察等 ・定期考査
		＊おもちゃ作り ＊保育所実習	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

９・１０・１１月	子どもの食事	○栄養と食事 ○栄養と食事食習慣の形成 ＊調理実習 （取り分け離乳食、食育、幼児食実習　等）	 ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○	a. 子どもの食生活について、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。 b. 乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめたり、発表したりしている。乳幼児期の食生活の特徴を把握し、献立を立案することができる。 c. 乳幼児期の発達に必要な食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を、調理実習を通して身に付けている。 d. 乳幼児期の食生活の特徴を理解している。	・授業プリント ・実習レポート ・安全作業への留意 ・観察等 ・定期考査
１２・１・２月	子育て支援	○児童福祉 ・児童福祉の理念 ・これからの子育て支援 ・子育て支援の課題 ＊知育おもちゃ作り	○ ○	○ 	 ○	○ 	a. 子育て支援の課題と展望についてや、知育おもちゃ作りに関心をもっている。 b. 子育て支援の課題と展望についてまとめたり、発表したりしている。子どもや子育てを取り巻く問題点や課題に踏み込んで分析し、望ましい方向性について考えをまとめている。 c. おもちゃ作りを通して、身近な材料を使っておもちゃを制作する技術を身に付けている。 d. 児童福祉の考え方やそれに関わる制度について理解している。	・授業プリント ・実習レポート ・安全作業への留意 ・実習製作物 ・観察等

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。